

道路建設事業の再評価項目調書

事業名	一般国道180号 <small>そうじゃ いちのみや</small> 総社・一宮バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局					
起終点	自： <small>おかやまけんおかやましきたくならづ</small> 岡山県岡山市北区栖津 至： <small>おかやまけんそうじゃしいじりの</small> 岡山県総社市井尻野	延長	15.9 km							
事業概要										
<p>一般国道180号は、<small>おかやまし まつえし</small> 岡山市から松江市へ至る延長約170kmの主要幹線道路である。 <small>そうじゃ いちのみや</small> 総社・一宮バイパスは、<small>おかやまし</small> 岡山市北西部・<small>そうじゃし</small> 総社市における一般国道180号の混雑緩和・交通安全の確保および沿線環境の改善等を目的とした、延長15.9kmの道路である。</p>										
S48年度事業化	S63年度都市計画決定	H元年度用地着手	H元年度工事着手							
全体事業費	約530億円	事業進捗率 (H22年度末現在)	22%	供用済延長	3.4 km					
計画交通量	15,600 ~ 44,500 台/日									
費用対効果 分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">B/C (3便益) (事業全体) 2.8</td> <td style="width: 50%;">総費用 (残事業)/事業全体 311 / 508 億円</td> </tr> <tr> <td>(残事業) 4.5</td> <td> 事業費 : 263/447億円 維持管理費 : 48/60億円 </td> </tr> </table>	B/C (3便益) (事業全体) 2.8	総費用 (残事業)/事業全体 311 / 508 億円	(残事業) 4.5	事業費 : 263/447億円 維持管理費 : 48/60億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">総便益 (残事業)/事業全体 1,410/1,418億円</td> <td style="width: 50%;">基準年 平成23年</td> </tr> <tr> <td> (走行時間短縮便益 : 1,181/1,205億円) (走行費用減少便益 : 140/124億円) (交通事故減少便益 : 89/89億円) </td> <td></td> </tr> </table>	総便益 (残事業)/事業全体 1,410/1,418億円	基準年 平成23年	(走行時間短縮便益 : 1,181/1,205億円) (走行費用減少便益 : 140/124億円) (交通事故減少便益 : 89/89億円)	
B/C (3便益) (事業全体) 2.8	総費用 (残事業)/事業全体 311 / 508 億円									
(残事業) 4.5	事業費 : 263/447億円 維持管理費 : 48/60億円									
総便益 (残事業)/事業全体 1,410/1,418億円	基準年 平成23年									
(走行時間短縮便益 : 1,181/1,205億円) (走行費用減少便益 : 140/124億円) (交通事故減少便益 : 89/89億円)										
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動 : B/C = 4.9 (交通量+10%) B/C = 3.9 (交通量-10%) 事業費変動 : B/C = 4.2 (事業費+10%) B/C = 5.0 (事業費-10%) 事業期間変動 : B/C = 4.1 (事業期間+20%) B/C = 5.0 (事業期間-20%)										
事業の効果等 ①円滑なモビリティの確保 ・損失時間の削減が見込まれる【5,441万人時間/年→5,118万人時間/年(6%削減)】 ・混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 【総社市総社地区 : 16.9km/h→45.0km/h】 【岡山市高松原古才地区 : 19.9km/h→31.5km/h】 ・利便性の向上が期待できるバス路線が存在する【岡山駅-稲荷山・芳賀佐山団地北】 ・高梁市から岡山駅(新幹線駅)へのアクセスが向上【高梁市～岡山駅 : 102分⇒77分】 ・高梁市から岡山空港(第三種空港)へのアクセスが向上【高梁市～岡山空港 : 92分⇒65分】 ②物流効率化の支援 ・高梁市から岡山港(重要港湾)へのアクセスが向上【高梁市～岡山港 : 127分⇒102分】 ③国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏の中心都市へのアクセスが向上【総社市～岡山市 : 68分⇒54分】 ④個性ある地域の形成 ・吉備路・備中国分寺(H21年間観光入込み客数50万人)、総社・宝福寺(H21年間観光入込み客数21万人)へのアクセスが向上 ⑤安全な生活環境の確保 ・死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間において、安全性の向上が期待できる。 【井尻野交差点 : 1,444.2件/億台キロ 等】 ⑥災害への備え ・岡山県の第1次緊急輸送道路に指定(国道180号) ・緊急輸送道路である国道180号が通行止めになった場合の代替路線を形成する。 ⑦地球環境の保全 ・CO2排出削減量が約14千t/年【2,633千t/年→2,619千t/年】 ⑧生活環境の改善・保全 ・NOX排出量が約84t/年削減(約0.8%)削減【11,168t/年→11,084t/年】 ・SPM排出量が約7t/年削減(約0.8%)削減【960t/年→953t/年】 ⑨環境への影響を考慮した結果 ・約14千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【5.3億円※】 ※ 供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)										

関係する地方公共団体等の意見

岡山市北西部・総社市中心部への通過交通流入が抑制され、交通の円滑化が図られるとともに沿道環境が改善し、市民生活の快適化と中心市街地の活性化が期待されており、岡山市をはじめとする関係4市の首長等で構成される一般国道180号岡山県整備促進期成会より早期整備の要望を受けている。

岡山県知事の意見：

継続するとの対応方針（原案）については異存ありません。

事業着手から長時間が経過しており、総社市や岡山市西部における交通渋滞の緩和や沿線地域の活性化に支障が生じないように、本事業の早期完成を強く求める。

岡山市長の意見：

異議ありません。

なお、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。

特に、一般国道180号総社・一宮バイパスにおいては、岡山市北区榑津から山陽自動車道接続までの区間について、事業促進による早期供用を要望します。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

団地開発、県立大学設立並びに山陽自動車道や中国横断自動車道の開通などによる交通量の増加により、慢性的な交通混雑や交通事故が発生している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成22年度末で用地買収は31%完了しており、現在までに岡山市門前～総社市総社までの3.4kmが供用済みである。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成27年度に岡山市北区榑津～一宮山崎間の供用を予定している。

施設の構造や工法の変更等

今後の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

そうじゃ いちのみや

一般国道180号 総社・一宮バイパス

事業再評価

平成23年8月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道180号 総社・一宮バイパス

- 一般国道180号は、岡山県岡山市北区から島根県松江市に至る延長約170kmの主要幹線道路である。
おかやまけんおかやましきたく しまねけんまつえし
- 総社・一宮バイパスは、岡山県岡山市北区から岡山県総社市を結ぶ延長15.9kmのバイパスである。
そうじゃ・いちのみや おかやまけんおかやましきたく おかやまけんそうじゃし



2. 事業概要及び経緯

一般国道180号 総社・一宮バイパス

(1) 事業概要

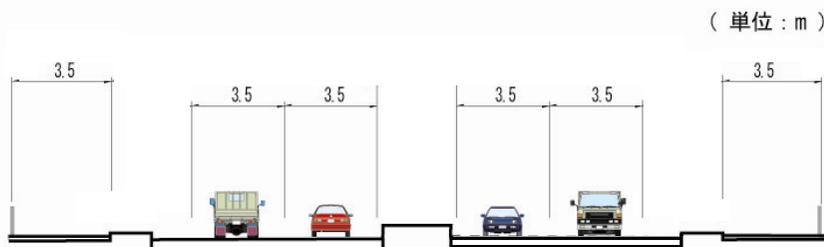
● 総社・一宮バイパスは、一般国道180号の岡山市北区櫛津から総社市井尻野の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした延長15.9kmの道路である。



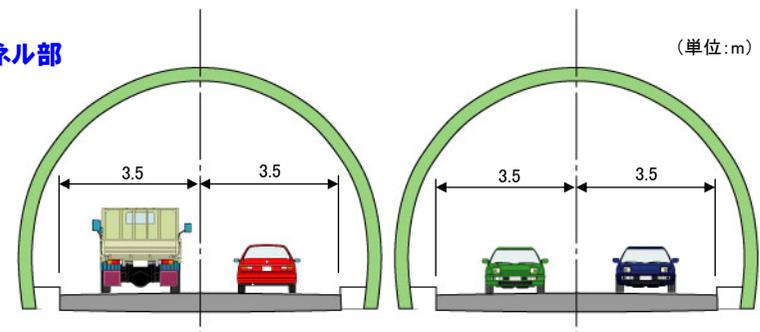
起 終 点	起点：岡山県岡山市北区櫛津 終点：岡山県総社市井尻野
計画延長	L=15.9km
道路規格	3種1級 4種1級 3種2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線

標準断面図

● 土工部



● トンネル部



2. 事業概要及び経緯

一般国道180号 総社・一宮バイパス

(2) 事業経緯と進捗状況

- 昭和63年度に都市計画決定し、平成5年度以降岡山市北区門前～総社市総社間を順次、4車線供用している。
- 現在は、岡山市北区榎津～北区門前、総社市総社～総社市井尻野の調査設計・用地買収を推進している。



●事業の進捗状況(平成22年度末現在)

用地	31%
工事	15%
全体	22%

※完成事業費に対する割合



●写真①
岡山市北区榎津から吉備SスマートIC方面を望む



●写真②
岡山総社IC上空から総社市方面を望む

事業経緯	総社市井尻野～総社市総社	総社市総社～総社市窪木	総社市窪木～岡山市北区門前	岡山市北区門前～岡山市榎津	
	昭和48年度	事業着手			
	昭和63年度	都市計画決定(S63.8.30)			
	平成元年度			用地着手・工事着手	
	平成2年度				都市計画決定(H3.2.26)
	平成3年度				事業着手
	平成5年度～平成8年度			総社市長良～総社市長良 (H5.9.14 4/4車供用) 総社市長良～岡山市北区門前 (H6.3.31 4/4車供用) 総社市窪木～総社市長良 (H8.4.1 4/4車供用)	
	平成10年度	用地着手			
	平成15年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて再評価を実施			
	平成16年度		工事着手		
	平成19年度		総社市総社～総社市窪木 (H20.3.22 4/4車供用)		
	平成20年度	中国地方整備局事業評価監視委員会にて再評価を実施			
	平成21年度				用地着手
平成23年度	用地着手(天原～小寺)				

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道180号 総社・一宮バイパス



課題①: 国道180号で発生する交通渋滞

<期待される道路の役割(効果)>
 ⇒ 損失時間の削減、沿道環境の改善

課題②: 国道180号で多発する交通事故

<期待される道路の役割(効果)>
 ⇒ 交通事故件数の削減

課題③: 通学時間帯における歩行空間の危険性

<期待される道路の役割(効果)>
 ⇒ 自転車歩行者道の整備による、安全・安心な歩行空間の確保

課題④: 物流の支援

<期待される道路の役割(効果)>
 ⇒ 岡山空港・岡山駅・岡山港への物流の円滑化支援

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題① 国道180号で発生する交通渋滞-1

・総社市街地の混雑度は1.5を超える高い状況にあり、H17年時点の交通量は2万台／日を超える状況にある。

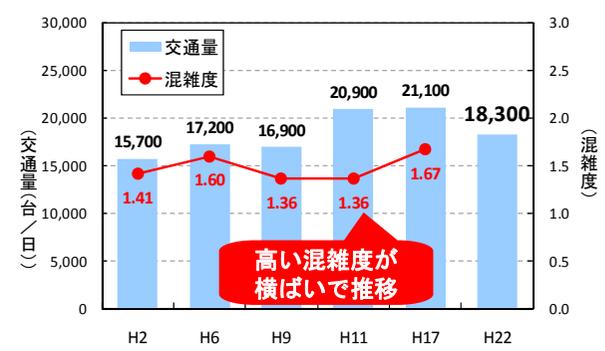


写真① 板倉交差点付近の朝ピーク時混雑状況 (総社市方面を望む)



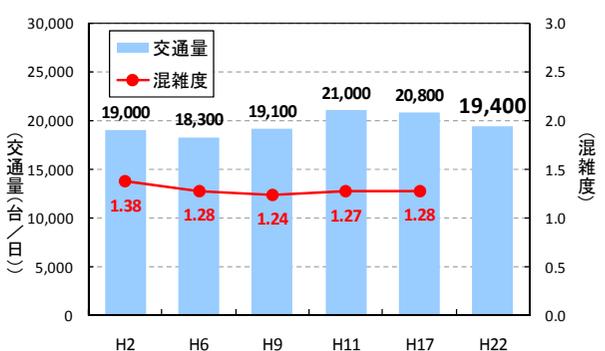
写真② 井尻野交差点付近の朝ピーク時混雑状況 (総社市街地方面を望む)

●総社市総社付近の混雑度と日交通量推移



資料/道路交通センサス(H2-H17) ※H22センサスは暫定値。

●岡山市北区高松原古才付近の混雑度と日交通量推移



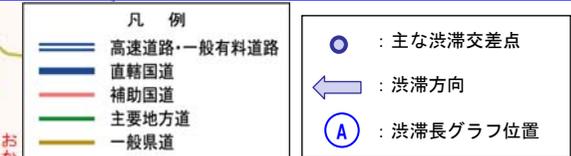
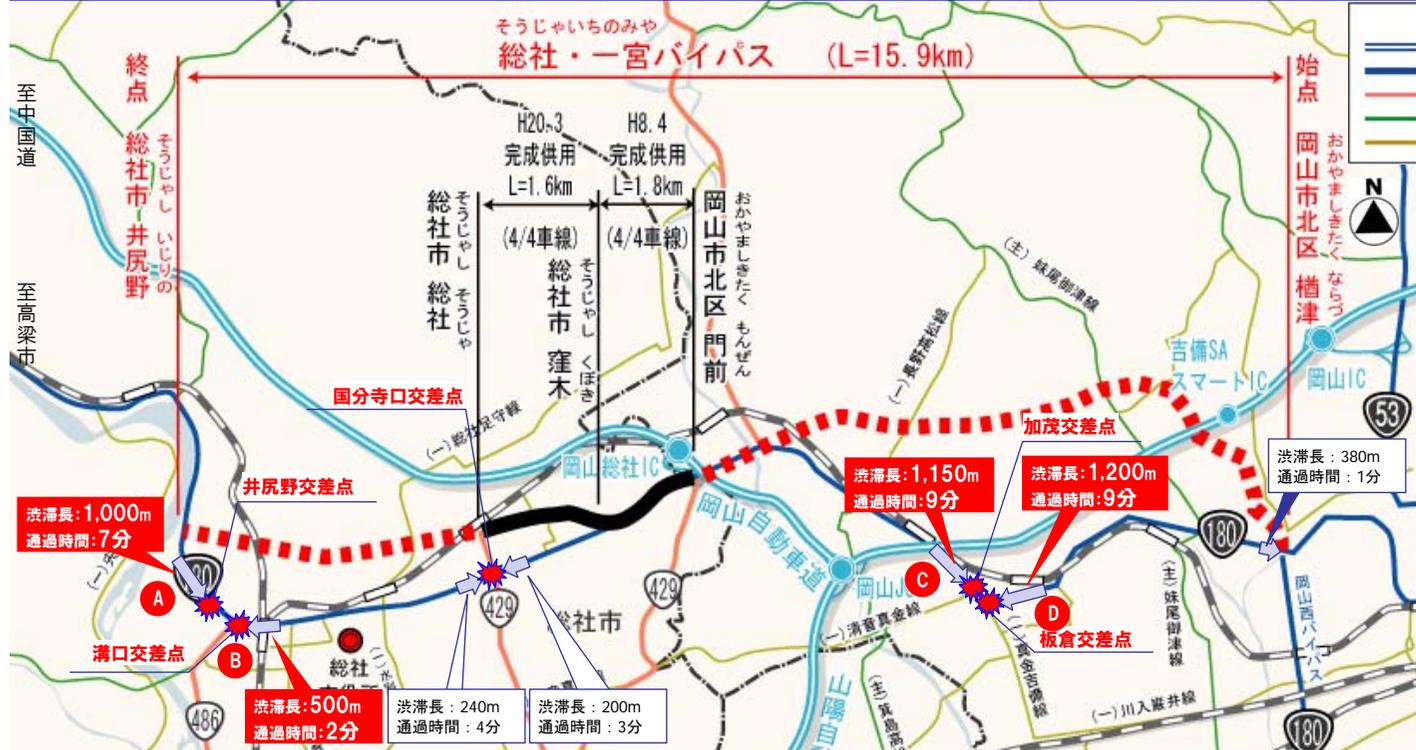
資料/道路交通センサス(H2-H17) ※H22センサスは暫定値。
※H22日交通量はH17昼夜率を元に算出

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

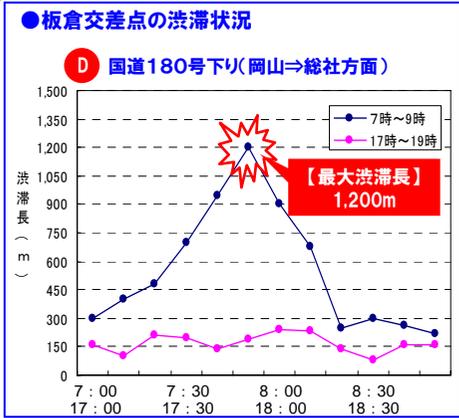
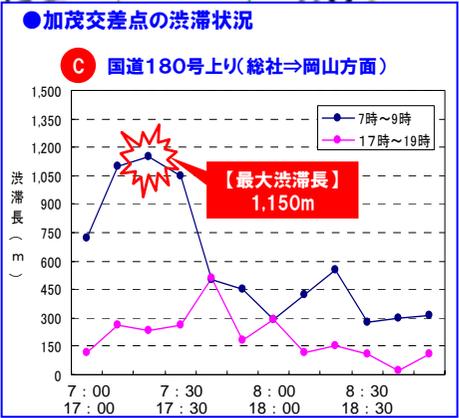
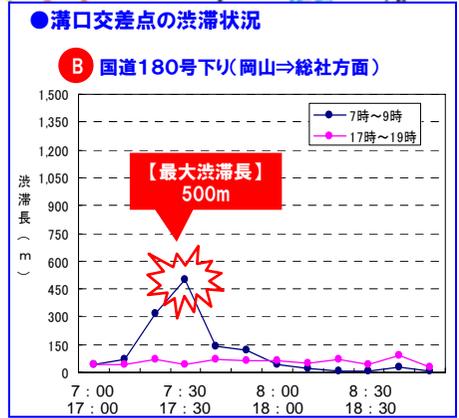
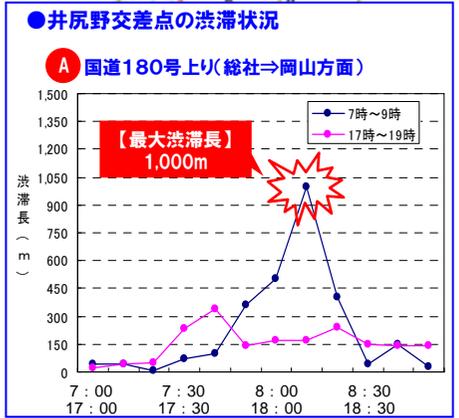
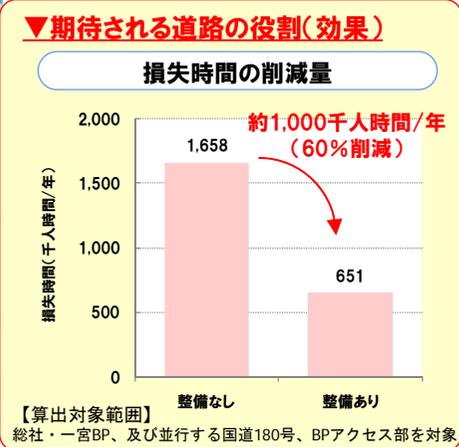
一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題① 国道180号で発生する交通渋滞-2

- 国道180号のバイパス未供用区間では、朝ピーク時に渋滞が発生する主要交差点が連続しており、特に板倉交差点では、両方向とも最大1.2km程度の渋滞が発生している。
- 総社市中心部においてもピーク時には最大約1.0kmの渋滞が発生している。



- 資料:
- 板倉・加茂交差点: H19.12.4渋滞長調査
 - 国分寺口交差点: H20.3.6渋滞長調査
 - 溝口・井尻野交差点: H20.3.24渋滞長調査
 - 岡山西BP・国道180号接続部: H23.4.26渋滞長調査



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

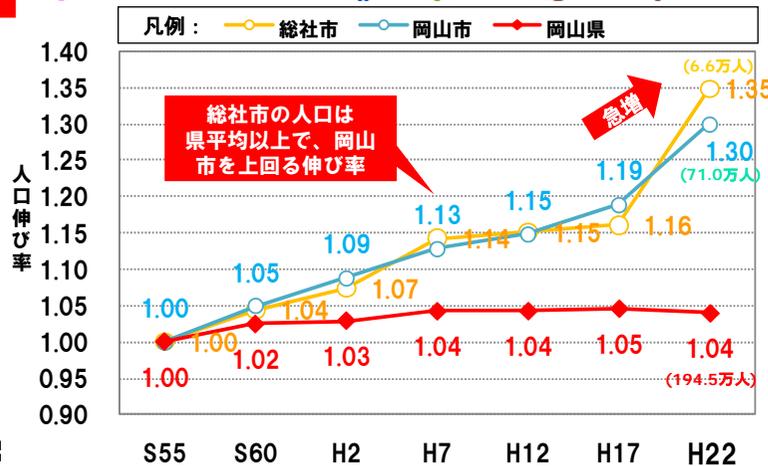
一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題① 国道180号で発生する交通渋滞-3

- ・国道180号沿線では、商業施設や民家等が連坦しており、各施設の出入り交通が後継車を阻害している。
- ・また、岡山市と総社市の人口は、増加傾向にあり、市街地を形成している。



写真① 沿線施設への出入り交通による後続車の閉塞状況 (総社市総社:高梁市方面望む)



資料：国勢調査(ただし、H22年は速報値)

事業路線	
供用区間	黒線
未供用区間	赤線
その他	
高速道路	青線
直轄国道	黄線
補助国道	紫線
主要地方道	緑線
県道	茶線
その他道路	灰線

国道180号沿線の用途地域	
第1種住居地域	黄線
第2種住居地域	茶線
近隣商業地域	紫線
準工業地域	緑線
沿道施設	
金融機関	黄丸
医療機関	青丸
ガリンスタンド	赤丸
学校	紫丸
その他	緑丸

※その他：小規模な事業所・商業施設等

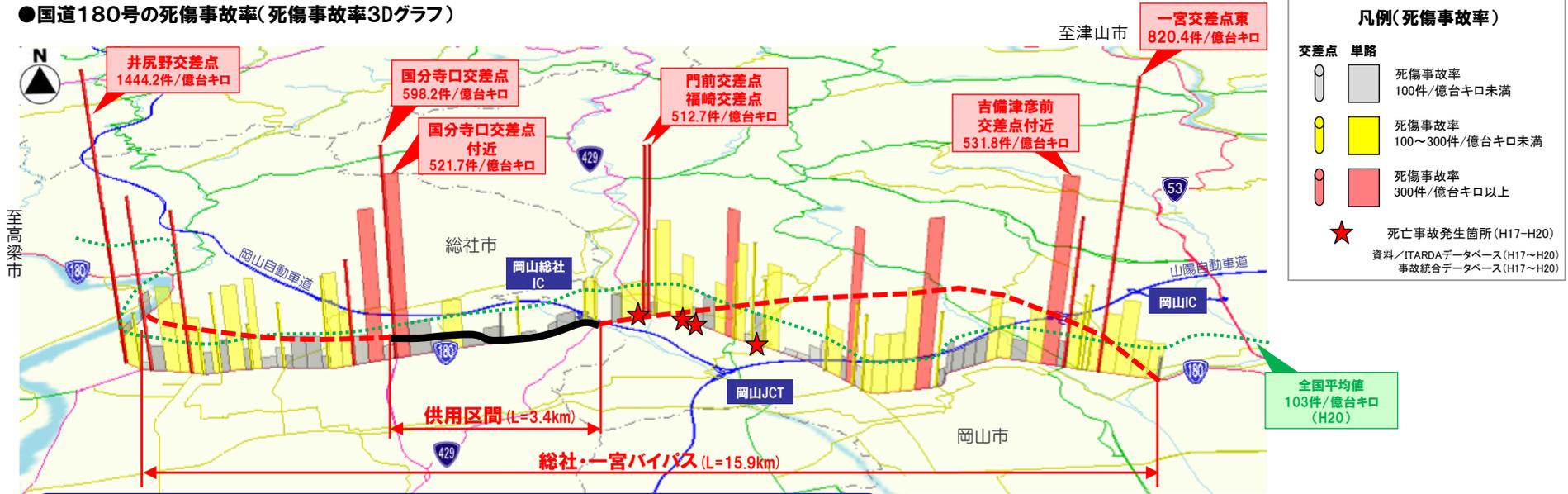
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道180号 総社・一宮バイパス

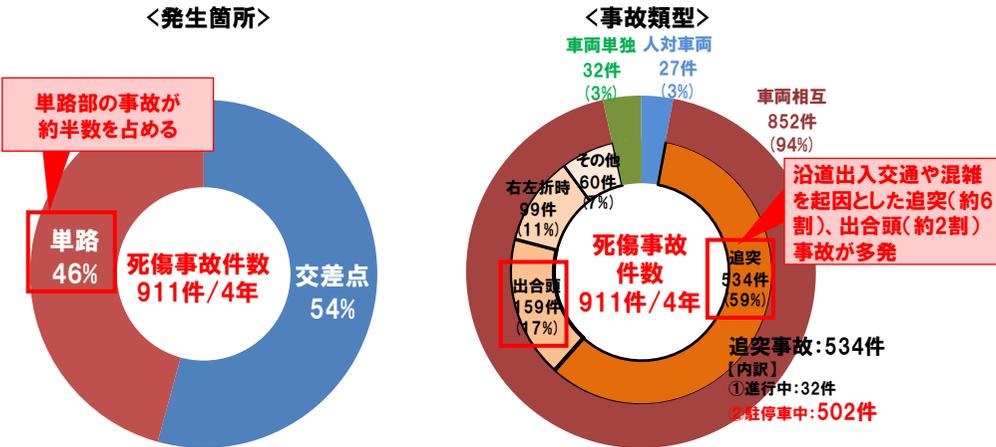
課題② 国道180号で多発する交通事故

- ・バイパス未供用区間の現道部では、死傷事故率が全国平均を上回っている箇所が多い。
- ・事故の発生状況では、沿道からの出入交通や混雑に起因すると考えられる追突事故、出合頭事故が多く、連続して発生している。
- ・そうじゃー いちのみや総社・一宮バイパスの整備により、死傷事故件数の削減が期待される。

●国道180号の死傷事故率(死傷事故率3Dグラフ)



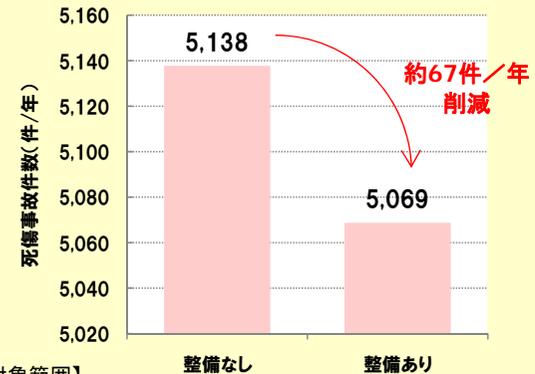
●国道180号(岡山市北区榑津~総社市井尻野)の死傷事故特性



資料/事故統合データベース(H17~H20)(国道180号 岡山市北区榑津~総社市井尻野)

▼期待される道路の役割(効果)

死傷事故件数の削減量



【算出対象範囲】

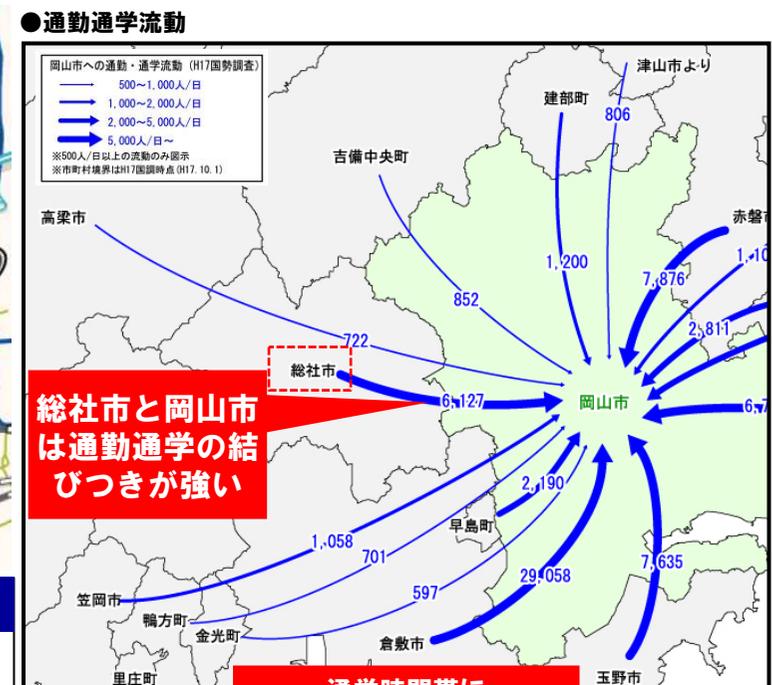
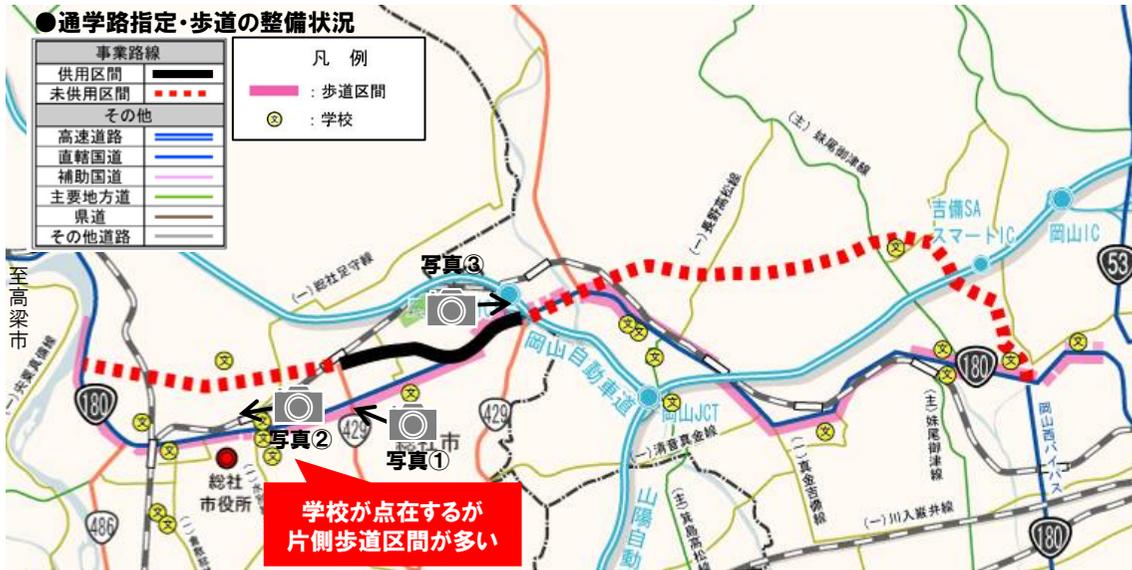
- ※1 推計年次における「整備なし・あり」の死傷事故件数
- ※2 算出手法は「費用便益分析マニュアル(H20.11)」を用いた
- ※3 集計対象範囲は、当該道路の供用に影響を与えるエリアを対象に算出

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題③ 通学時間帯における歩行空間の危険性

- ・国道180号沿線では、小中学校が多く立地する中で、歩車分離がされていない区間も多く、通学児童が危険な状況である。
- ・既存供用区間では、歩道整備により歩行者の安全性が確保されている。



児童が通学する歩道も構造的な分離がなく、通勤・通学時間帯の交通が多い区間では、危険性が高い



写真①: 総社市門田の沿道状況 (高梁市方面望む)



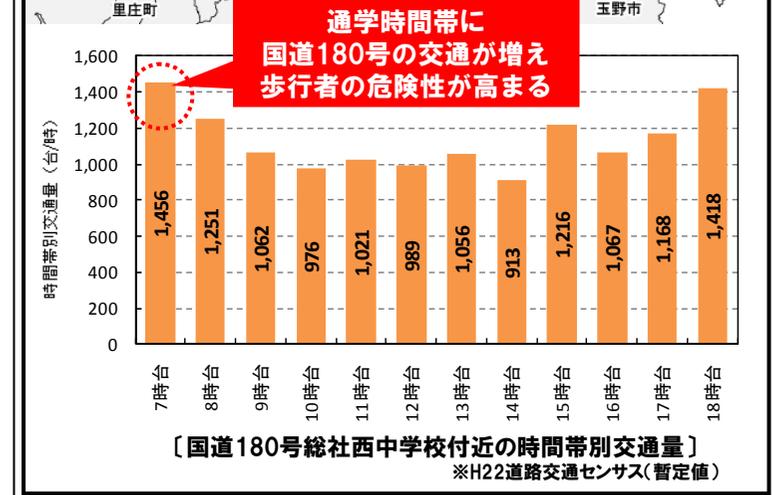
写真②: 総社市溝口の沿道状況 (高梁市方面望む)

供用区間における歩道整備の効果

① 供用区間の歩行空間 (総社・一宮BP)



- ・バイパスへの交通転換 ⇒ 現道の安全性向上
- ・バイパス歩道の活用 ⇒ 通学時の安全性向上



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

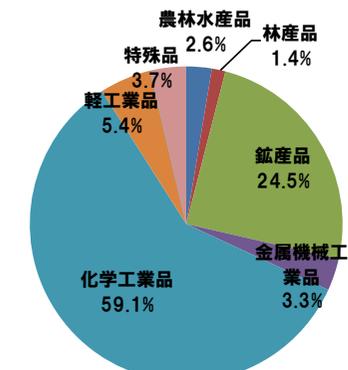
一般国道180号 総社・一宮バイパス

課題④ 物流の支援

- ・そうじゃ・いちのみや総社・一宮バイパスの整備により、岡山空港アクセス時間の短縮が期待される。
- ・また、岡山駅までの所要時間が約25分短縮し、物流活動の支援が期待される。



【岡山港の取り扱い貨物の内訳】



資料：H22 岡山県の港湾統計データ

▼期待される道路の役割(効果)



5. 事業の効果

・地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については、従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

▶ 3便益による費用便益比

(億円)

項目	全体事業	残事業
費用 (C)	508	311
事業費	447	263
維持管理費	60	48
便益額 (B)	1,418	1,410
走行時間短縮便益	1,205	1,181
走行経費減少便益	124	140
交通事故減少便益	89	89
費用便益比	2.8	4.5

便益計測対象項目	内容
走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
走行経費減少便益	道路整備によって混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行経費には燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗者、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損壊を受ける車両や構造物に関する物的損害額、交通渋滞による損失額が含まれる。

▶ 道路の役割

▼ 道路の役割 (+α)

- ① 環境への影響を考慮した効果 [約14千トン/年のCO2削減] 【5.3億円】 ※
総社・一宮バイパス整備に伴う速度向上による環境 (CO2) の改善効果を算定。
- ② 円滑なモビリティの確保 [例) 高梁市役所～岡山駅への所要時間短縮25分 (102分→77分)]
- ③ 沿道環境の改善 [NOX排出量：約84トン/年 (0.8%) 削減、SPM排出量：約7トン/年 (0.8%) 削減]
当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値 (参考値)

	計画交通量	総事業費	総費用 (C)	3 便益 (B)	費用対効果 (B/C) () 内は残事業B/C
参考① (3 便益)	15,600~44,500台/日	530億円	508億円	1,418億円	2.8 (4.5)
参考② (その他の道路の役割を考慮)	15,600~44,500台/日	530億円	508億円	1,418億円 + α	—

※基準年：H23年

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇総社市の人口・世帯数は、団地開発や大学設立等により近年増加傾向にある
- ◇国道180号では、慢性的な交通混雑や事故が発生している。

2) 事業の効果

- ◇費用便益比(B/C)= 2.8 (事業全体) 4.5(残事業)
- ◇道路の役割
 - ①環境への影響を考慮した効果[約14千トン/年のCO2削減]【5.3億円】※
 - 総社・一宮バイパス整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定
 - ②円滑なモビリティの確保[例] 高梁市役所～岡山駅への所要時間短縮25分(102分→77分)]
 - ③沿道環境の改善[NOX排出量：約84トン/年(0.8%)削減、SPM排出量：約7トン/年(0.8%)削減]
- 当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

3) 事業の進捗状況

- ◇平成22年度末で用地買収は31%が完了しており、現在までに岡山市北区門前～総社市総社までの3.4kmが供用済みである。

②事業の進捗見込み

- ◇投資効果の早期発現を図るため段階的に整備しており、平成27年度に岡山市北区榑津～一宮山崎間の暫定2車線供用を予定している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

- ◇今後の実施にあたっては、コスト縮減を図りつつ事業を推進していく。

2. 県・市への意見照会結果

- ◇岡山県知事の意見：
継続するとの対応方針(原案)については異存ありません。
事業着手から長時間が経過しており、総社市や岡山市西部における交通渋滞の緩和や沿線地域の活性化に支障が生じないよう、本事業の早期完成を強く求める。
- ◇岡山市長の意見：
異議ありません。
なお、広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。
特に、一般国道180号総社・一宮バイパスにおいては、岡山市北区榑津から山陽自動車道接続までの区間について、事業促進による早期供用を要望します。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業の実施にあたっては、コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業実施に努める。

◆前回評価時との比較

	前回評価時 (平成20年)	今回評価時 (平成23年)	備考 (前回評価時からの主な変更点)
事業諸元	L=15.9km	L=15.9km	—
計画交通量	11,800～32,700台/日	15,600～44,500台/日	・推計モデル、及び将来フレームを統一(H22年度) ・ネットワーク設定の見直し(現況に加え事業化済み箇所を考慮)
総事業費	約530億円	約530億円	—
総費用 (C)	464億円	508億円	基準年の変更(H20基準からH23基準)
総便益 (B)	779億円	1,418億円	・推計モデル、及び将来フレームを統一(H22年度) ・ネットワーク設定の見直し(現況に加え事業化済み箇所を考慮) ・基準年の変更(H20基準からH23基準)
費用対効果 (B/C)	1.7	2.8	総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道180号 総社・一宮バイパス
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道180号 総社・一宮バイパス
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 2.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 910億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 8.0%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 4.5 (経済的純現在価値 (B-C) = 1,099億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 17.4%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(整備無)：54,409千人・時間/年 渋滞損失削減時間：3,227千人・時間/年(54,409千人・時間/年⇒51,182千人・時間/年) 区間b(該当区間/並行区間)について 並行区間等(該当区間)の渋滞損失時間：1,658千人・時間/年(総社・一宮バイパス【岡山市橋津〜総社市井尻野】) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率：60%削減(1,658千人・時間/年⇒651千人・時間/年)	
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間(総社市総社地区)：改善見込み(旅行速度16.9km/h⇒45.0km/h) 対象区間(岡山市高松原古才地区)：改善見込み(旅行速度19.9km/h⇒31.5km/h)	
	□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	岡山駅～稲荷山・芳賀佐山団地北(中鉄バス)の利便性向上が見込まれる	
	■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	対象駅：岡山駅(新幹線駅)、対象自治体名：高梁市、改善見込み：(高梁市役所～岡山駅、102分⇒77分)	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	対象空港：岡山空港(第三種空港)、対象自治体名：高梁市、改善見込み：(高梁市役所～岡山空港、92分⇒65分)	
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	対象港湾：岡山港(重要港湾)、対象自治体名：高梁市、改善見込み：(高梁市役所～岡山港、(127分⇒102分)
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
	都市の再生	□ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
■ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		岡山環状道路の一部を形成する	
□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			
■ 中心市街地内で行う事業である		総社市中心市街地	
□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である			
□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する			
□ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる			

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		■ 地域高規格道路の位置づけあり	岡山環状道路
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体名：総社市、日常活動圏中心都市：岡山市、改善見込み：（68分⇒54分）
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	アクセス向上が期待される観光地：吉備路・備中国分寺 年間観光客入り込み数：50.0万人/年（H21年） アクセス向上が期待される観光地：総社・宝福寺 年間観光客入り込み数：21.2万人/年（H21年）
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての当該区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する			
安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		
3. 安全	安全な生活環境の確保	■ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	・500件/億台キロ以上である区間・箇所（井原野交差点：1,444.2件/億台キロ 等） ・見込まれる交通量の減少（最大14,600台/日）
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

3. 安全	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する		
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	岡山県の第一次緊急輸送道路に位置付け（国道180号）	
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：国道180号 代替する区間：岡山市榑津～総社市井尻野	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）		
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される		
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する		
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する		
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する		
	<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	(推計結果) CO2排出削減量：約14千トン/年（整備なし約2,633千t/年、整備あり約2,619千t/年）	
		生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(推計結果) 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：約84t/年、排出削減率：0.8%削減（整備なし：11,168 t/年⇒整備あり：11,084 t/年）
			● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(推計結果) 評価対象区間：便益算定対象範囲 排出削減量：約7 t/年、排出削減率：0.8%削減（整備なし：960 t/年⇒整備あり：953 t/年）
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある		
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている		
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり		
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	新おかやま夢づくりプラン(H21.9)	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる		

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道180号	総社・一宮バイパス	L= 15.9 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
15,600~44,500	4	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成23年度		
単純合計	513億円	214億円	727億円
うち残事業分	392億円	174億円	566億円
基準年における 現在価値 (C)	447億円	60億円	508億円
うち残事業分	263億円	48億円	312億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成23年度			
供用年	平成42年度			
単年便益 (初年便益)	81億円	9.2億円	6.0億円	96億円
基準年における 現在価値 (B)	1,205億円	124億円	89億円	1,418億円
うち残事業分	1,181億円	140億円	89億円	1,410億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.8
経済的純現在価値（事業全体）	910億円
経済的内部収益率（事業全体）	8.0%
費用便益比（残事業）	4.5
経済的純現在価値（残事業）	1,099億円
経済的内部収益率（残事業）	17.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	15,600~44,500	±10%	3.9~4.9
事業費	392億円	±10%	4.2~5.0
事業期間	18年	±20%	4.1~5.0

交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：総社・一宮バイパス（事業全体）

（推計時点 H42 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 総社・一宮バイパス 延長：15.9km	交通量 ^{※1}	[台/日]	13,500	30,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	4	18	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	8.60	99.81	
②主な周辺道路 ^{※4}	現道（国道180号） ：13.6km	交通量	[台/日]	21,200	10,600
		走行時間	[分]	28	24
		走行時間費用	[億円/年]	107.91	45.07
	県)川入厳井線・吉備津松島線 ：12.2km	交通量	[台/日]	28,100	26,000
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	110.28	96.84
	県)倉敷総社線・総社停車場線・水別総社線・(市道) ：14.4km	交通量	[台/日]	9,300	5,900
		走行時間	[分]	28	26
		走行時間費用	[億円/年]	42.94	25.94
	県)清音真金線・(市道) ：12.3km	交通量	[台/日]	11,300	6,500
		走行時間	[分]	20	18
		走行時間費用	[億円/年]	39.29	19.89
	県)箕島高松線・(市道) ：2.9km	交通量	[台/日]	19,100	12,900
		走行時間	[分]	5	4
		走行時間費用	[億円/年]	18.32	10.71
③その他道路合計：1833.1km	走行時間費用	[億円/年]	5,952.57	5,889.20	

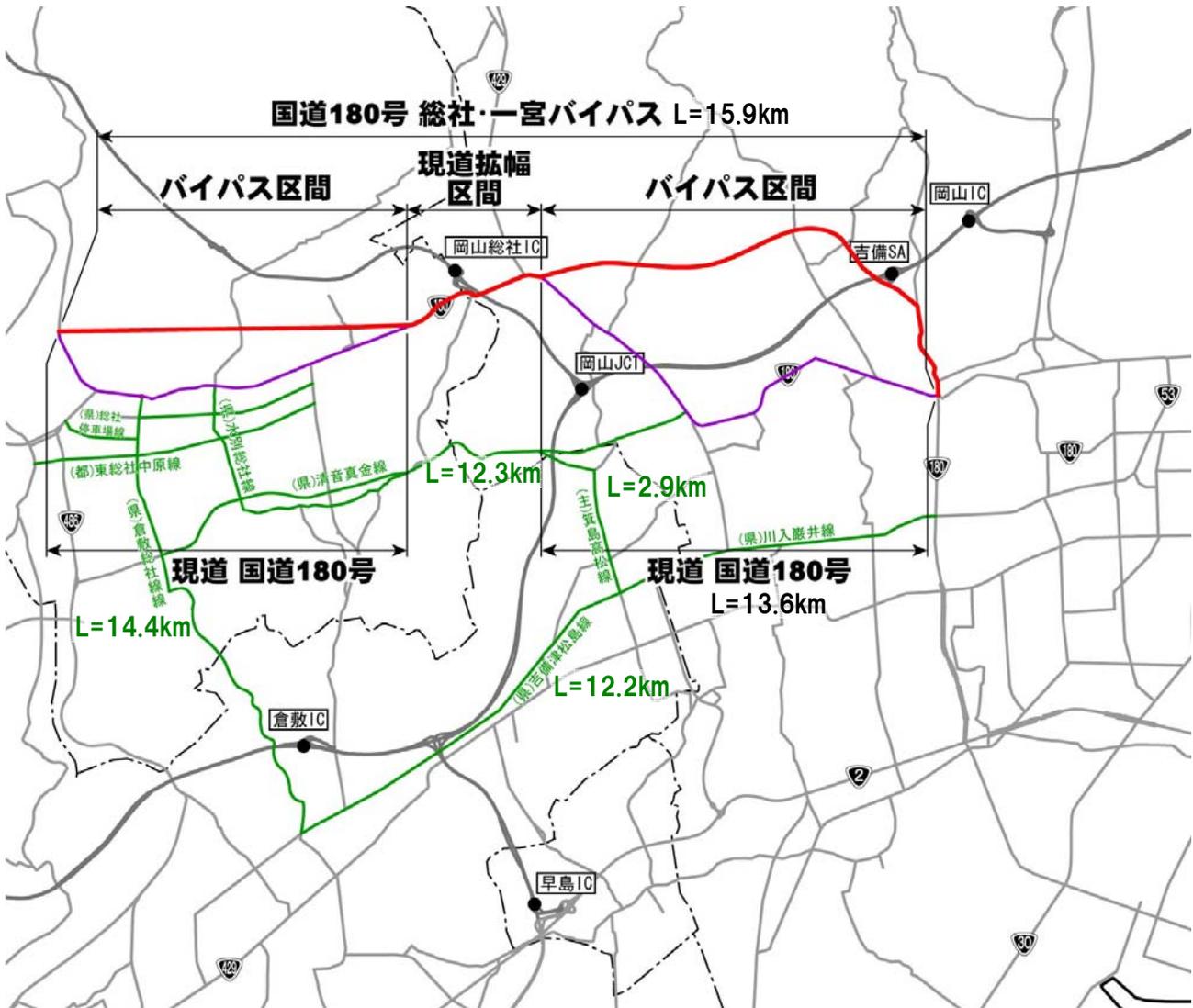
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1904.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,279.91	6,187.47	92.44

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名： 総社・一宮バイパス（事業全体）

(2) 図面（①、②）に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式 - 3 ①

事業名：総社・一宮バイパス（残事業）

（推計時点 H42 年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 総社・一宮バイパス 延長：15.9km	交通量 ^{※1}	[台/日]	15,500	30,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	5	18	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	15.23	99.81	
②主な周 辺道路 ^{※4}	現道（国道180号） ：13.6km	交通量	[台/日]	20,900	10,600
		走行時間	[分]	28	24
		走行時間費用	[億円/年]	106.11	45.07
	県）川入厳井線・吉備津松島線 ：12.2km	交通量	[台/日]	28,000	26,000
		走行時間	[分]	22	21
		走行時間費用	[億円/年]	110.24	96.84
	県）倉敷総社線・総社停車場線・水別総社線・（市道） ：14.4km	交通量	[台/日]	9,300	5,900
		走行時間	[分]	28	26
		走行時間費用	[億円/年]	42.78	25.94
	県）清音真金線・（市道） ：12.3km	交通量	[台/日]	10,500	6,500
		走行時間	[分]	19	18
		走行時間費用	[億円/年]	35.72	19.89
	県）箕島高松線・（市道） ：2.9km	交通量	[台/日]	19,100	12,900
		走行時間	[分]	5	4
		走行時間費用	[億円/年]	18.27	10.71
③その他道路合計：1833.1km	走行時間費用	[億円/年]	5,949.81	5,889.20	

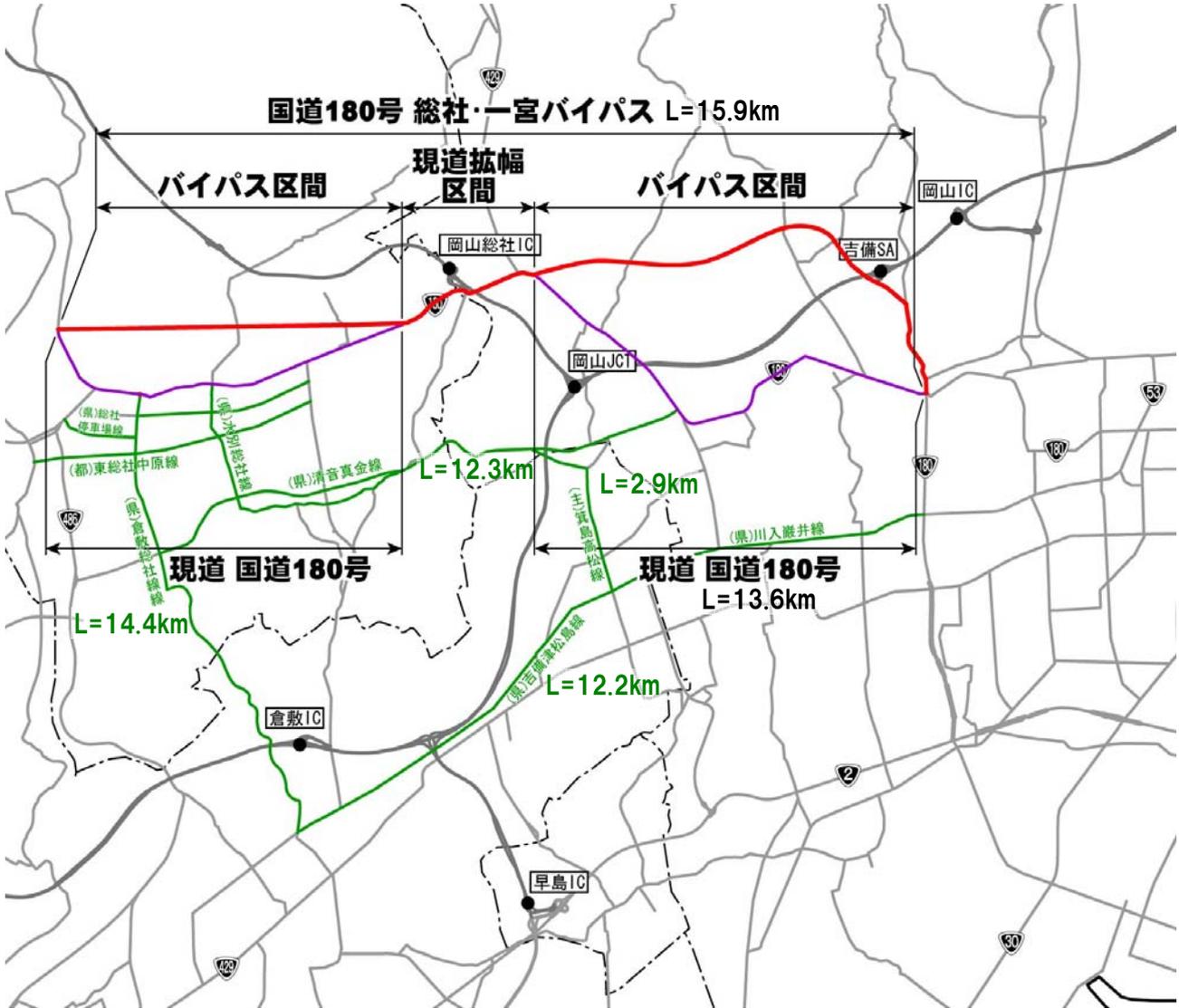
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1904.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,278.17	6,187.47	90.69

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

事業名： 総社・一宮バイパス（残事業）

(2) 図面（①、②）に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：総社・一宮バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成23年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		実績値に基づき維持管理費用を算出	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他			
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

		維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)					
		単価(億円)		延長(km)		単純単価(億円)	
		0.29		15.9		4.65	
年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-49年目	S 48	4.4388	52.4	0.10	0.76		
-48年目	S 49	4.2681	62.5	0.10	0.61		
-47年目	S 50	4.1039	66.1	0.05	0.28		
-46年目	S 51	3.9461	71.7	0.05	0.25		
-45年目	S 52	3.7943	76.0	0.05	0.22		
-44年目	S 53	3.6484	79.2				
-43年目	S 54	3.5081	81.3				
-42年目	S 55	3.3731	86.4				
-41年目	S 56	3.2434	88.6				
-40年目	S 57	3.1187	89.6				
-39年目	S 58	2.9987	90.5				
-38年目	S 59	2.8834	92.3				
-37年目	S 60	2.7725	93.0	0.20	0.54		
-36年目	S 61	2.6658	94.6	0.20	0.51		
-35年目	S 62	2.5633	94.4	0.20	0.49		
-34年目	S 63	2.4647	94.9	0.80	1.87		
-33年目	H 1	2.3699	97.4	9.98	21.86		
-32年目	H 2	2.2788	99.6	11.88	24.46		
-31年目	H 3	2.1911	102.0	7.05	13.63		
-30年目	H 4	2.1068	103.4	7.61	13.95		
-29年目	H 5	2.0258	103.7	6.99	12.29		
-28年目	H 6	1.9479	103.6	5.05	8.55		
-27年目	H 7	1.8730	103.0	3.37	5.52		
-26年目	H 8	1.8009	102.4	2.97	4.71		
-25年目	H 9	1.7317	103.4	0.57	0.86		
-24年目	H 10	1.6651	102.8	0.48	0.70		
-23年目	H 11	1.6010	101.3	2.36	3.36		
-22年目	H 12	1.5395	99.7	4.66	6.48		
-21年目	H 13	1.4802	98.4	8.94	12.10		
-20年目	H 14	1.4233	96.6	4.47	5.92		
-19年目	H 15	1.3686	95.4	1.57	2.02		
-18年目	H 16	1.3159	94.4	2.60	3.26		
-17年目	H 17	1.2653	93.2	0.29	0.35		
-16年目	H 18	1.2167	92.5	14.10	16.69		
-15年目	H 19	1.1699	91.7	7.72	8.87		
-14年目	H 20	1.1249	91.2	1.18	1.31		
-13年目	H 21	1.0816	90.0	4.97	5.38		
-12年目	H 22	1.0400	90.0	5.19	5.40		
-11年目	H 23	1.0000	90.0	5.60	5.60		
-10年目	H 24	0.9615	90.0	6.59	6.34		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	13.53	12.51		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	26.83	23.85		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	18.77	16.04		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	25.12	20.64		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	30.54	24.13		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	34.43	26.17		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	36.62	26.76		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	27.19	19.10		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	19.16	12.95		
暫定供用開始	H 34	0.6496	90.0	0.95	0.62	3.53	2.30
1年目	H 35	0.6246	90.0	4.76	2.97	3.53	2.21
2年目	H 36	0.6006	90.0	9.52	5.72	3.53	2.12
3年目	H 37	0.5775	90.0	19.05	11.00	3.53	2.04
4年目	H 38	0.5553	90.0	38.10	21.15	3.53	1.96
5年目	H 39	0.5339	90.0	47.62	25.42	3.53	1.89
6年目	H 40	0.5134	90.0	20.95	10.76	3.53	1.81
7年目	H 41	0.4936	90.0	12.10	5.97	3.53	1.74
供用開始年次	H 42	0.4746	90.0			4.43	2.10
9年目	H 43	0.4564	90.0			4.43	2.02
10年目	H 44	0.4388	90.0			4.43	1.94
11年目	H 45	0.4220	90.0			4.43	1.87
12年目	H 46	0.4057	90.0			4.43	1.80
13年目	H 47	0.3901	90.0			4.43	1.73
14年目	H 48	0.3751	90.0			4.43	1.66
15年目	H 49	0.3607	90.0			4.43	1.60
16年目	H 50	0.3468	90.0			4.43	1.54
17年目	H 51	0.3335	90.0			4.43	1.48
18年目	H 52	0.3207	90.0			4.43	1.42
19年目	H 53	0.3083	90.0			4.43	1.37
20年目	H 54	0.2965	90.0			4.43	1.31
21年目	H 55	0.2851	90.0			4.43	1.26
22年目	H 56	0.2741	90.0			4.43	1.21
23年目	H 57	0.2636	90.0			4.43	1.17
24年目	H 58	0.2534	90.0			4.43	1.12
25年目	H 59	0.2437	90.0			4.43	1.08
26年目	H 60	0.2343	90.0			4.43	1.04
27年目	H 61	0.2253	90.0			4.43	1.00
28年目	H 62	0.2166	90.0			4.43	0.96
29年目	H 63	0.2083	90.0			4.43	0.92
30年目	H 64	0.2003	90.0			4.43	0.89
31年目	H 65	0.1926	90.0			4.43	0.85
32年目	H 66	0.1852	90.0			4.43	0.82
33年目	H 67	0.1780	90.0			4.43	0.79
34年目	H 68	0.1712	90.0			4.43	0.76
35年目	H 69	0.1646	90.0			4.43	0.73
36年目	H 70	0.1583	90.0			4.43	0.70
37年目	H 71	0.1522	90.0			4.43	0.67
38年目	H 72	0.1463	90.0			4.43	0.65
39年目	H 73	0.1407	90.0			4.43	0.62
40年目	H 74	0.1353	90.0			4.43	0.60
41年目	H 75	0.1301	90.0			4.43	0.58
42年目	H 76	0.1251	90.0			4.43	0.55
43年目	H 77	0.1203	90.0			4.43	0.53
44年目	H 78	0.1157	90.0			4.43	0.51
45年目	H 79	0.1112	90.0			4.43	0.49
46年目	H 80	0.1069	90.0			4.43	0.47
47年目	H 81	0.1028	90.0			4.43	0.46
48年目	H 82	0.0989	90.0			4.43	0.44
49年目	H 83	0.0951	90.0	-141.52	-13.45	4.43	0.42
合計				371.65	447.44	214.27	60.20

単純事業費計			513.17	214.27
--------	--	--	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 総社・一宮バイパス(残事業)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.30	12.5	3.80	
-10年目	H 24	0.9615	90.0	6.59	6.34		
-9年目	H 25	0.9246	90.0	13.53	12.51		
-8年目	H 26	0.8890	90.0	26.83	23.85		
-7年目	H 27	0.8548	90.0	18.77	16.04		
-6年目	H 28	0.8219	90.0	25.12	20.64		
-5年目	H 29	0.7903	90.0	30.54	24.13		
-4年目	H 30	0.7599	90.0	34.43	26.17		
-3年目	H 31	0.7307	90.0	36.62	26.76		
-2年目	H 32	0.7026	90.0	27.19	19.10		
-1年目	H 33	0.6756	90.0	19.16	12.95		
暫定供用開始	H 34	0.6496	90.0	0.95	0.62	2.72	1.77
1年目	H 35	0.6246	90.0	4.76	2.97	2.72	1.70
2年目	H 36	0.6006	90.0	9.52	5.72	2.72	1.64
3年目	H 37	0.5775	90.0	19.05	11.00	2.72	1.57
4年目	H 38	0.5553	90.0	38.10	21.15	2.72	1.51
5年目	H 39	0.5339	90.0	47.62	25.42	2.72	1.45
6年目	H 40	0.5134	90.0	20.95	10.76	2.72	1.40
7年目	H 41	0.4936	90.0	12.10	5.97	2.72	1.34
供用開始年次	H 42	0.4746	90.0			3.62	1.72
9年目	H 43	0.4564	90.0			3.62	1.65
10年目	H 44	0.4388	90.0			3.62	1.59
11年目	H 45	0.4220	90.0			3.62	1.53
12年目	H 46	0.4057	90.0			3.62	1.47
13年目	H 47	0.3901	90.0			3.62	1.41
14年目	H 48	0.3751	90.0			3.62	1.36
15年目	H 49	0.3607	90.0			3.62	1.31
16年目	H 50	0.3468	90.0			3.62	1.26
17年目	H 51	0.3335	90.0			3.62	1.21
18年目	H 52	0.3207	90.0			3.62	1.16
19年目	H 53	0.3083	90.0			3.62	1.12
20年目	H 54	0.2965	90.0			3.62	1.07
21年目	H 55	0.2851	90.0			3.62	1.03
22年目	H 56	0.2741	90.0			3.62	0.99
23年目	H 57	0.2636	90.0			3.62	0.95
24年目	H 58	0.2534	90.0			3.62	0.92
25年目	H 59	0.2437	90.0			3.62	0.88
26年目	H 60	0.2343	90.0			3.62	0.85
27年目	H 61	0.2253	90.0			3.62	0.82
28年目	H 62	0.2166	90.0			3.62	0.78
29年目	H 63	0.2083	90.0			3.62	0.75
30年目	H 64	0.2003	90.0			3.62	0.72
31年目	H 65	0.1926	90.0			3.62	0.70
32年目	H 66	0.1852	90.0			3.62	0.67
33年目	H 67	0.1780	90.0			3.62	0.64
34年目	H 68	0.1712	90.0			3.62	0.62
35年目	H 69	0.1646	90.0			3.62	0.60
36年目	H 70	0.1583	90.0			3.62	0.57
37年目	H 71	0.1522	90.0			3.62	0.55
38年目	H 72	0.1463	90.0			3.62	0.53
39年目	H 73	0.1407	90.0			3.62	0.51
40年目	H 74	0.1353	90.0			3.62	0.49
41年目	H 75	0.1301	90.0			3.62	0.47
42年目	H 76	0.1251	90.0			3.62	0.45
43年目	H 77	0.1203	90.0			3.62	0.44
44年目	H 78	0.1157	90.0			3.62	0.42
45年目	H 79	0.1112	90.0			3.62	0.40
46年目	H 80	0.1069	90.0			3.62	0.39
47年目	H 81	0.1028	90.0			3.62	0.37
48年目	H 82	0.0989	90.0			3.62	0.36
49年目	H 83	0.0951	90.0	-95.26	-9.06	3.62	0.34
合計				296.56	263.05	173.79	48.45

単純事業費計		391.82	173.79
--------	--	--------	--------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名: 総社・一宮バイパス(事業全体)

年次	年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6496	90.0	53.68	13.94	12.94	80.56	52.33	6.57	1.20	1.41	9.18	5.96	6.00	3.90	95.74	62.19
1年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6246	90.0	53.53	13.86	13.13	80.52	50.29	6.55	1.19	1.43	9.17	5.73	6.00	3.75	95.70	59.77
2年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6006	90.0	53.38	13.77	13.33	80.48	48.34	6.53	1.19	1.45	9.17	5.51	6.00	3.60	95.65	57.45
3年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5775	90.0	53.22	13.69	13.53	80.44	46.45	6.51	1.18	1.47	9.17	5.29	6.00	3.46	95.61	55.21
4年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5553	90.0	53.07	13.61	13.73	80.41	44.65	6.50	1.17	1.49	9.16	5.09	6.00	3.33	95.57	53.06
5年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5339	90.0	52.91	13.53	13.93	80.37	42.91	6.48	1.16	1.52	9.16	4.89	6.00	3.20	95.52	51.00
6年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5134	90.0	52.76	13.44	14.13	80.33	41.24	6.46	1.16	1.54	9.15	4.70	6.00	3.08	95.48	49.02
7年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4936	90.0	52.60	13.36	14.32	80.29	39.63	6.44	1.15	1.56	9.15	4.52	6.00	2.96	95.43	47.11
8年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4746	90.0	60.23	15.32	16.89	92.44	43.88	6.35	1.08	1.61	9.04	4.29	6.78	3.22	108.26	51.39
9年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4564	90.0	59.77	15.21	16.91	91.89	41.94	6.30	1.08	1.61	8.99	4.10	6.74	3.08	107.62	49.12
10年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4388	90.0	59.31	15.10	16.93	91.34	40.08	6.26	1.07	1.61	8.93	3.92	6.70	2.94	106.98	46.95
11年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4220	90.0	58.84	15.00	16.95	90.79	38.31	6.21	1.06	1.61	8.88	3.75	6.67	2.81	106.34	44.87
12年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4057	90.0	58.38	14.89	16.97	90.24	36.61	6.16	1.05	1.61	8.82	3.58	6.63	2.69	105.69	42.88
13年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3901	90.0	57.92	14.79	16.99	89.69	34.99	6.11	1.05	1.61	8.77	3.42	6.59	2.57	105.05	40.98
14年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3751	90.0	57.45	14.68	17.01	89.14	33.44	6.06	1.04	1.62	8.72	3.27	6.55	2.46	104.41	39.17
15年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3607	90.0	56.99	14.57	17.03	88.60	31.96	6.01	1.03	1.62	8.66	3.12	6.51	2.35	103.77	37.43
16年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3468	90.0	56.53	14.47	17.05	88.05	30.54	5.96	1.02	1.62	8.61	2.99	6.47	2.24	103.12	35.76
17年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3335	90.0	56.07	14.36	17.07	87.50	29.18	5.91	1.02	1.62	8.55	2.85	6.43	2.14	102.48	34.17
18年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3207	90.0	55.60	14.26	17.09	86.95	27.88	5.86	1.01	1.62	8.50	2.72	6.39	2.05	101.84	32.65
19年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3083	90.0	55.14	14.15	17.11	86.40	26.64	5.82	1.00	1.63	8.44	2.60	6.35	1.96	101.20	31.20
20年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2965	90.0	54.68	14.04	17.13	85.85	25.45	5.77	0.99	1.63	8.39	2.49	6.31	1.87	100.55	29.81
21年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2851	90.0	54.22	13.94	17.15	85.30	24.32	5.72	0.99	1.63	8.33	2.38	6.27	1.79	99.91	28.48
22年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2741	90.0	53.75	13.83	17.17	84.75	23.23	5.67	0.98	1.63	8.28	2.27	6.23	1.71	99.27	27.21
23年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2636	90.0	53.29	13.72	17.19	84.20	22.19	5.62	0.97	1.63	8.23	2.17	6.20	1.63	98.62	25.99
24年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2534	90.0	52.83	13.62	17.21	83.65	21.20	5.57	0.96	1.63	8.17	2.07	6.16	1.56	97.98	24.83
25年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2437	90.0	52.37	13.51	17.23	83.10	20.25	5.52	0.96	1.64	8.12	1.98	6.12	1.49	97.34	23.72
26年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2343	90.0	51.90	13.41	17.25	82.56	19.34	5.47	0.95	1.64	8.06	1.89	6.08	1.42	96.70	22.66
27年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2253	90.0	51.44	13.30	17.27	82.01	18.47	5.43	0.94	1.64	8.01	1.80	6.04	1.36	96.05	21.64
28年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2166	90.0	50.98	13.19	17.29	81.46	17.65	5.38	0.93	1.64	7.95	1.72	6.00	1.30	95.41	20.67
29年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2083	90.0	50.51	13.09	17.31	80.91	16.85	5.33	0.93	1.64	7.90	1.65	5.96	1.24	94.77	19.74
30年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2003	90.0	50.05	12.98	17.33	80.36	16.09	5.28	0.92	1.65	7.84	1.57	5.92	1.19	94.12	18.85
31年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1926	90.0	49.59	12.88	17.35	79.81	15.37	5.23	0.91	1.65	7.79	1.50	5.88	1.13	93.48	18.00
32年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1852	90.0	49.13	12.77	17.36	79.26	14.68	5.18	0.90	1.65	7.74	1.43	5.84	1.08	92.84	17.19
33年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1780	90.0	48.66	12.66	17.38	78.71	14.01	5.13	0.90	1.65	7.68	1.37	5.80	1.03	92.20	16.42
34年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1712	90.0	48.20	12.56	17.40	78.16	13.38	5.08	0.89	1.65	7.63	1.31	5.77	0.99	91.55	15.67
35年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1646	90.0	47.74	12.45	17.42	77.61	12.78	5.03	0.88	1.66	7.57	1.25	5.73	0.94	90.91	14.97
36年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1583	90.0	47.27	12.35	17.44	77.06	12.20	4.99	0.87	1.66	7.52	1.19	5.69	0.90	90.27	14.29
37年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1522	90.0	46.81	12.24	17.46	76.51	11.65	4.94	0.87	1.66	7.46	1.14	5.65	0.86	89.63	13.64
38年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1463	90.0	46.35	12.13	17.48	75.96	11.12	4.89	0.86	1.66	7.41	1.08	5.61	0.82	88.98	13.02
39年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1407	90.0	45.89	12.03	17.50	75.42	10.61	4.84	0.85	1.66	7.35	1.03	5.57	0.78	88.34	12.43
40年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1353	90.0	45.42	11.92	17.52	74.87	10.13	4.79	0.84	1.66	7.30	0.99	5.53	0.75	87.70	11.87
41年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1301	90.0	44.96	11.82	17.54	74.32	9.67	4.74	0.84	1.67	7.25	0.94	5.49	0.71	87.05	11.33
42年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1251	90.0	44.50	11.71	17.56	73.77	9.23	4.69	0.83	1.67	7.19	0.90	5.45	0.68	86.41	10.81
43年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1203	90.0	44.03	11.60	17.58	73.22	8.81	4.64	0.82	1.67	7.14	0.86	5.41	0.65	85.77	10.32
44年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1157	90.0	43.57	11.50	17.60	72.67	8.40	4.60	0.81	1.67	7.08	0.82	5.37	0.62	85.13	9.85
45年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1112	90.0	43.11	11.39	17.62	72.12	8.02	4.55	0.81	1.67	7.03	0.78	5.33	0.59	84.48	9.40
46年目	H 80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1069	90.0	42.65	11.29	17.64	71.57	7.65	4.50	0.80	1.68	6.97	0.75	5.30	0.57	83.84	8.97
47年目	H 81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1028	90.0	42.18	11.18	17.66	71.02	7.30	4.45	0.79	1.68	6.92	0.71	5.26	0.54	83.20	8.55
48年目	H 82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.0989	90.0	41.72	11.07	17.68	70.47	6.97	4.40	0.78	1.68	6.86	0.68	5.22	0.52	82.55	8.16
49年目	H 83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	0.0951	90.0	41.26	10.97	17.70	69.92	6.65	4.35	0.78	1.68	6.81	0.65	5.18	0.49	81.91	7.79
合計								2,556.44	661.14	835.47	4,053.05	1,204.94	276.83	48.49	80.89	406.22	123.66	299.17	89.03	4,758.43	1,417.63

便益の現在価値算定表

箇所名: 総社・一宮バイパス(残事業)

年次	年度 (基準年) H23	総走行台キロの年次別伸び率 (山陽ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×(2)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 34	0.99713	0.99413	1.01556	0.99988	0.6496	90.0	52.69	13.66	12.49	78.83	51.21	7.37	1.38	1.62	10.37	6.74	6.03	3.92	95.23	61.86
1年目	H 35	0.99713	0.99409	1.01532	0.99988	0.6246	90.0	52.54	13.58	12.68	78.79	49.21	7.34	1.37	1.65	10.37	6.47	6.03	3.76	95.18	59.45
2年目	H 36	0.99712	0.99406	1.01509	0.99988	0.6006	90.0	52.38	13.50	12.87	78.75	47.30	7.32	1.36	1.67	10.36	6.22	6.03	3.62	95.14	57.14
3年目	H 37	0.99711	0.99402	1.01486	0.99988	0.5775	90.0	52.23	13.42	13.06	78.71	45.45	7.30	1.36	1.70	10.36	5.98	6.03	3.48	95.09	54.91
4年目	H 38	0.99710	0.99398	1.01465	0.99988	0.5553	90.0	52.08	13.34	13.25	78.67	43.68	7.28	1.35	1.72	10.35	5.75	6.02	3.35	95.05	52.78
5年目	H 39	0.99709	0.99395	1.01444	0.99988	0.5339	90.0	51.93	13.26	13.44	78.63	41.98	7.26	1.34	1.75	10.35	5.52	6.02	3.22	95.00	50.72
6年目	H 40	0.99708	0.99391	1.01423	0.99988	0.5134	90.0	51.78	13.18	13.63	78.59	40.34	7.24	1.33	1.77	10.34	5.31	6.02	3.09	94.95	48.75
7年目	H 41	0.99708	0.99387	1.01403	0.99988	0.4936	90.0	51.63	13.10	13.82	78.55	38.77	7.22	1.32	1.80	10.34	5.10	6.02	2.97	94.91	46.85
8年目	H 42	0.99707	0.99384	1.01384	0.99988	0.4746	90.0	59.26	15.05	16.39	90.69	43.05	7.13	1.26	1.85	10.23	4.86	6.81	3.23	107.74	51.14
9年目	H 43	0.99232	0.99307	1.00117	0.99423	0.4564	90.0	58.80	14.95	16.40	90.15	41.14	7.07	1.25	1.85	10.17	4.64	6.77	3.09	107.09	48.88
10年目	H 44	0.99226	0.99302	1.00116	0.99419	0.4388	90.0	58.35	14.84	16.42	89.61	39.32	7.02	1.24	1.85	10.11	4.44	6.73	2.95	106.45	46.72
11年目	H 45	0.99220	0.99298	1.00116	0.99416	0.4220	90.0	57.89	14.74	16.44	89.07	37.58	6.96	1.23	1.85	10.05	4.24	6.69	2.82	105.81	44.65
12年目	H 46	0.99214	0.99293	1.00116	0.99413	0.4057	90.0	57.44	14.63	16.46	88.53	35.92	6.91	1.22	1.86	9.99	4.05	6.65	2.70	105.17	42.67
13年目	H 47	0.99207	0.99288	1.00116	0.99409	0.3901	90.0	56.98	14.53	16.48	87.99	34.33	6.85	1.21	1.86	9.93	3.87	6.61	2.58	104.53	40.78
14年目	H 48	0.99201	0.99282	1.00116	0.99406	0.3751	90.0	56.53	14.43	16.50	87.45	32.80	6.80	1.20	1.86	9.87	3.70	6.57	2.47	103.89	38.97
15年目	H 49	0.99195	0.99277	1.00116	0.99402	0.3607	90.0	56.07	14.32	16.52	86.91	31.35	6.75	1.20	1.86	9.80	3.54	6.53	2.36	103.25	37.24
16年目	H 50	0.99188	0.99272	1.00116	0.99398	0.3468	90.0	55.62	14.22	16.54	86.37	29.95	6.69	1.19	1.87	9.74	3.38	6.49	2.25	102.61	35.59
17年目	H 51	0.99181	0.99267	1.00115	0.99395	0.3335	90.0	55.16	14.11	16.56	85.83	28.62	6.64	1.18	1.87	9.68	3.23	6.46	2.15	101.97	34.00
18年目	H 52	0.99175	0.99261	1.00115	0.99391	0.3207	90.0	54.70	14.01	16.58	85.29	27.35	6.58	1.17	1.87	9.62	3.08	6.42	2.06	101.33	32.49
19年目	H 53	0.99168	0.99256	1.00115	0.99387	0.3083	90.0	54.25	13.90	16.60	84.75	26.13	6.53	1.16	1.87	9.56	2.95	6.38	1.97	100.68	31.04
20年目	H 54	0.99161	0.99250	1.00115	0.99384	0.2965	90.0	53.79	13.80	16.61	84.21	24.96	6.47	1.15	1.87	9.50	2.82	6.34	1.88	100.04	29.66
21年目	H 55	0.99154	0.99245	1.00115	0.99380	0.2851	90.0	53.34	13.70	16.63	83.67	23.85	6.42	1.14	1.88	9.44	2.69	6.30	1.80	99.40	28.34
22年目	H 56	0.99146	0.99239	1.00115	0.99376	0.2741	90.0	52.88	13.59	16.65	83.13	22.78	6.36	1.13	1.88	9.37	2.57	6.26	1.72	98.76	27.07
23年目	H 57	0.99139	0.99233	1.00115	0.99372	0.2636	90.0	52.43	13.49	16.67	82.59	21.77	6.31	1.13	1.88	9.31	2.45	6.22	1.64	98.12	25.86
24年目	H 58	0.99132	0.99227	1.00115	0.99368	0.2534	90.0	51.97	13.38	16.69	82.05	20.79	6.25	1.12	1.88	9.25	2.34	6.18	1.57	97.48	24.70
25年目	H 59	0.99124	0.99221	1.00114	0.99364	0.2437	90.0	51.52	13.28	16.71	81.51	19.86	6.20	1.11	1.88	9.19	2.24	6.14	1.50	96.84	23.60
26年目	H 60	0.99116	0.99215	1.00114	0.99360	0.2343	90.0	51.06	13.17	16.73	80.97	18.97	6.14	1.10	1.89	9.13	2.14	6.10	1.43	96.20	22.54
27年目	H 61	0.99108	0.99209	1.00114	0.99356	0.2253	90.0	50.61	13.07	16.75	80.43	18.12	6.09	1.09	1.89	9.07	2.04	6.06	1.37	95.56	21.53
28年目	H 62	0.99100	0.99202	1.00114	0.99352	0.2166	90.0	50.15	12.97	16.77	79.88	17.30	6.03	1.08	1.89	9.01	1.95	6.02	1.30	94.91	20.56
29年目	H 63	0.99092	0.99196	1.00114	0.99348	0.2083	90.0	49.70	12.86	16.79	79.34	16.53	5.98	1.07	1.89	8.95	1.86	5.98	1.25	94.27	19.64
30年目	H 64	0.99084	0.99190	1.00114	0.99343	0.2003	90.0	49.24	12.76	16.81	78.80	15.78	5.92	1.06	1.90	8.88	1.78	5.94	1.19	93.63	18.75
31年目	H 65	0.99075	0.99183	1.00114	0.99339	0.1926	90.0	48.79	12.65	16.82	78.26	15.07	5.87	1.06	1.90	8.82	1.70	5.91	1.14	92.99	17.91
32年目	H 66	0.99067	0.99176	1.00113	0.99334	0.1852	90.0	48.33	12.55	16.84	77.72	14.39	5.81	1.05	1.90	8.76	1.62	5.87	1.09	92.35	17.10
33年目	H 67	0.99058	0.99169	1.00113	0.99330	0.1780	90.0	47.88	12.45	16.86	77.18	13.74	5.76	1.04	1.90	8.70	1.55	5.83	1.04	91.71	16.33
34年目	H 68	0.99049	0.99162	1.00113	0.99325	0.1712	90.0	47.42	12.34	16.88	76.64	13.12	5.70	1.03	1.90	8.64	1.48	5.79	0.99	91.07	15.59
35年目	H 69	0.99040	0.99155	1.00113	0.99321	0.1646	90.0	46.96	12.24	16.90	76.10	12.53	5.65	1.02	1.91	8.58	1.41	5.75	0.95	90.43	14.89
36年目	H 70	0.99031	0.99148	1.00113	0.99316	0.1583	90.0	46.51	12.13	16.92	75.56	11.96	5.60	1.01	1.91	8.52	1.35	5.71	0.90	89.79	14.21
37年目	H 71	0.99021	0.99141	1.00113	0.99312	0.1522	90.0	46.05	12.03	16.94	75.02	11.42	5.54	1.00	1.91	8.45	1.29	5.67	0.86	89.15	13.57
38年目	H 72	0.99011	0.99133	1.00113	0.99307	0.1463	90.0	45.60	11.92	16.96	74.48	10.90	5.49	1.00	1.91	8.39	1.23	5.63	0.82	88.50	12.95
39年目	H 73	0.99002	0.99126	1.00113	0.99302	0.1407	90.0	45.14	11.82	16.98	73.94	10.40	5.43	0.99	1.91	8.33	1.17	5.59	0.79	87.86	12.36
40年目	H 74	0.98991	0.99118	1.00112	0.99297	0.1353	90.0	44.69	11.72	17.00	73.40	9.93	5.38	0.98	1.92	8.27	1.12	5.55	0.75	87.22	11.80
41年目	H 75	0.98981	0.99110	1.00112	0.99292	0.1301	90.0	44.23	11.61	17.02	72.86	9.48	5.32	0.97	1.92	8.21	1.07	5.51	0.72	86.58	11.26
42年目	H 76	0.98971	0.99102	1.00112	0.99287	0.1251	90.0	43.78	11.51	17.03	72.32	9.05	5.27	0.96	1.92	8.15	1.02	5.47	0.68	85.94	10.75
43年目	H 77	0.98960	0.99094	1.00112	0.99282	0.1203	90.0	43.32	11.40	17.05	71.78	8.63	5.21	0.95	1.92	8.09	0.97	5.43	0.65	85.30	10.26
44年目	H 78	0.98949	0.99086	1.00112	0.99277	0.1157	90.0	42.87	11.30	17.07	71.24	8.24	5.16	0.94	1.93	8.03	0.93	5.39	0.62	84.66	9.79
45年目	H 79	0.98938	0.99077	1.00112	0.99271	0.1112	90.0	42.41	11.19	17.09	70.70	7.86	5.10	0.93	1.93	7.96	0.89	5.35	0.60	84.02	9.34
46年目	H 80	0.98926	0.99069	1.00112	0.99266	0.1069	90.0	41.96	11.09	17.11	70.16	7.50	5.05	0.93	1.93	7.90	0.85	5.32	0.57	83.38	8.92
47年目	H 81	0.98915	0.99060	1.00112	0.99261	0.1028	90.0	41.50	10.99	17.13	69.62	7.16	4.99	0.92	1.93	7.84	0.81	5.28	0.54	82.73	8.51
48年目	H 82	0.98903	0.99051	1.00111	0.99255	0.0989	90.0	41.05	10.88	17.15	69.08	6.83	4.94	0.91	1.93	7.78	0.77	5.24	0.52	82.09	8.12
49年目	H 83	0.98891	0.99042	1.00111	0.99250	0.0951	90.0	40.59	10.78	17.17	68.54	6.52	4.88	0.90	1.94	7.72	0.73	5.20	0.49	81.45	7.74
合計								2,514.06	649.42	809.86	3,973.33	1,180.96	310.58	56.08	93.17	459.83	139.91	300.35	89.39	4,733.51	1,410.25

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4/4	15.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	29,727	
	改良費		式	1	6,853	
		土工	m ³	1,705,968	3,504	切土、盛土、購入土
		軟弱地盤改良工	m ³	—	—	
		法面工	m ²	146,893	259	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	430	重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁、L型擁壁
		函渠工	式	1	2,660	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	9,657	
		100m以上	m	1,965	5,552	PC橋(10橋)
		100m未満	m	1,094	4,105	PC橋(18橋)、ME橋(8橋)、OV橋(3橋)
	トンネル費		式	1	9,798	
		NATM	m	3,754	9,798	6本(上下線)
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	2,721	
		車道舗装	m ²	299,800	2,610	
		歩道舗装	m ²	55,252	111	
	附帯施設費		式	1	698	
		交通管理施設工	式	1	698	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	—	—	
②	用地及び補償費		式	1	16,367	
	用地費		式	1	14,152	
		宅地	m ²	52,171	1,931	
		田畑	m ²	368,686	11,016	
		山林・原野	m ²	106,804	1,205	
	補償費		式	1	2,215	
③	間接経費		式	1	6,906	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					53,000	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4/4	15.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費		式	1	27,481	
	改良費		式	1	6,321	
		土工	m ³	1,595,000	3,414	切土、盛土、購入土
		軟弱地盤改良工	m ³	—	—	
		法面工	m ²	137,511	257	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	420	重力式擁壁、ブロック積擁壁、逆T式擁壁、L型擁壁
		函渠工	式	1	2,230	管渠工、函渠工、水路工、等
	橋梁費		式	1	8,430	
		100m以上	m	1,725	4,686	PC橋(8橋)
		100m未満	m	994	3,744	PC橋(16橋)、ME橋(8橋)、OV橋(3橋)
	トンネル費		式	1	9,798	
		NATM	m	3,754	9,798	6本(上下線)
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費		式	—	—	
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費		式	1	2,365	
		車道舗装	m ²	254,200	2,291	
		歩道舗装	m ²	37,130	74	
	附帯施設費		式	1	567	
		交通管理施設工	式	1	567	標識工、防護柵工、道路照明工、中央分離帯工、等
		遮音壁	m	—	—	
②	用地及び補償費		式	1	11,093	
	用地費		式	1	9,526	
		宅地	m ²	45,719	1,305	
		田畑	m ²	201,120	6,722	
		山林・原野	m ²	102,737	1,157	
	補償費		式	1	1,567	
③	間接経費		式	1	2,012	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				40,586	

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4	15.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
維持費	km	15.9	3,850	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	18,648	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			22,498	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道180号	総社・一宮バイパス	4	12.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考(記載例)
維持費	km	12.5	3,000	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	15,248	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			18,248	

一般国道180号 総社・一宮バイパス
〔岡山県への意見照会と回答〕

国中整企画第47号
国中整港計第23号
平成23年7月13日

岡山県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年8月4日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年7月26日（火）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

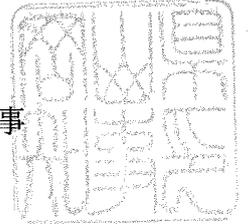
事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道180号 総社・一宮バイパス	継続	
一般国道2号 倉敷立体	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

技 第 159 号
平成23年7月26日

中国地方整備局長 様

岡山県知事

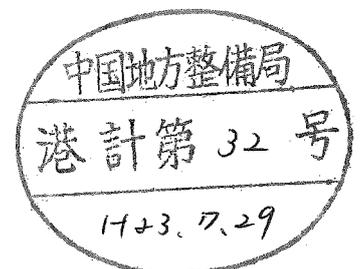


中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

平成23年7月13日付け国中整企画第47号及び国中整港計第23号で照会のあった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）については異存ありません。なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・一般国道180号 総社・一宮バイパス
- ・一般国道2号 倉敷立体



(別紙1)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(案)に対する意見

		事業課名	道路建設課
事業名	一般国道180号 総社・一宮バイパス		
対応方針に対する意見 (対応方針：継続)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である • <input type="checkbox"/> 妥当でない		
(意見) 事業着手から長期間が経過しており、総社市や岡山市西部における交通渋滞の緩和や沿線地域の活性化に支障が生じないように、本事業の早期完成を強く求める。			

※1 対応方針に対する意見は、「妥当である」「妥当でない」のいずれかに○をして下さい。

※2 具体的な意見がある場合は、(意見)欄に記載して下さい。

特に対応方針が「妥当でない」との意見の場合には、(意見)欄にその理由を必ず記載して下さい。

※3 中国地方整備局への回答は、公表されます。公表不可の箇所がある場合は、その箇所が分かるようにして下さい。

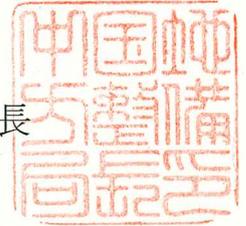
一般国道180号 総社・一宮バイパス
〔岡山市への意見照会と回答〕



国中整企画第47号
国中整港計第23号
平成23年7月13日

岡山市長 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年8月4日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年7月26日（火）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道53号 岡山北バイパス	継続	
一般国道180号 総社・一宮バイパス	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

岡道計第 72号
平成22年7月21日

中国地方整備局長 様

岡山市長 高谷 茂 男



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

貴職におかれましては、平素より岡山市の土木行政に対するご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成23年7月13日付け国中整企画第47号、国中整港計第23号で照会のありました「一般国道53号岡山北バイパス」、「一般国道180号総社・一宮バイパス」の再評価に係る対応方針（原案）案に対する意見について、下記の通り回答します。

記

1 意見 異議ありません。

なお、両路線とも広域的な交流や渋滞緩和を図るための重要な道路であり、引き続き整備の促進をお願いします。

特に、一般国道53号岡山北バイパスにおいては、津高大橋の4車線化について、また、一般国道180号総社・一宮バイパスにおいては、岡山市北区榎津から山陽自動車道接続までの区間について、事業促進による早期供用を要望します。



<問い合わせ先>

岡山市都市整備局道路計画課

次長 小野 正 勝

TEL 086-803-1695

FAX 086-803-1727

